

## 必見！チラシづくり、広報のポイント！

なかなか講座やイベントの募集をかけても人が集まらないという声をよく耳にします。今では、ボランティア・NPOに関する講座やイベントもさまざまなところで開催され、また、広報する媒体も多様になり、参加する方は多くの情報から自分の興味のある講座やイベントを選択しています。このような中で、参加して欲しいターゲットにどう手にとってもらい、参加してもらうか。また、項目として何を掲載すればいいかなど、ちょっと下記にポイントとして挙げてみました。

### 1. ターゲットを意識したチラシを！

みんなに手に取ってもらうというのは困難で、広く浅くではなく、一定のターゲットに届くよう意識した内容にしてみよう。ターゲットが何を欲しているか、誰にチラシを到達させるかなど、ターゲットを的確に絞ることも大切です。常に参加する側に立ち、参加者のこころにある「キーワード」や参加者にとっての「メリット」など参加者の視点で考えた中身にすると効果的！また、ターゲットが参加しやすい曜日や時間設定も重要です！

### 2. 参加後のイメージを意識したチラシを！

この講座・イベントに参加することによる効果を入れたり、第三者の意見(例：過去の「参加者の声」など)をいれたり参加後のイメージを盛り込むことも効果的です！

### 4. 講座・イベント開催と合わせて団体もPR！

講座・イベント開催時の広報の問題もさることながら、団体では「団体の存在をもっと知ってもらいたい」、「活動の理解者、支援者、参加者をもっと得たい」などの課題を抱えられている団体も多くあるのではないのでしょうか。開催チラシに団体のPRも入れることも一つの手です。また、講座・イベントに限らず、団体の活動そのものが、「誰に」「何を」伝えたいか、今一度、団体内で共通認識を図ることとても大切なことです。

### 3. 広報する前にチェックしてみよう！

講座・イベントを開催するにもさまざまな段階をクリアしていく必要があります。講座・イベントを企画する⇒チラシをつくる⇒配布する⇒マスコミに取材してもらうなど、それぞれの段階でチェックしてみよう！

チェック！

#### チェック1：チラシに必要な情報は入っていますか？

- タイトル：ラックにおいても、見えるよう、上部1/4に書く効果的
- 趣旨：何のためのこの講座を開催するのか、ターゲットを意識して書いてみよう
- 日時：曜日・時間も忘れずに（終了時間も書くようにしよう）
- 場所：会場名、住所は勿論のこと、会場の連絡先や会場の周辺地図・交通手段を掲載すればより分かりやすい
- 対象：誰でも参加していい場合も、特にあなたに参加してほしい感を出す効果的
- 参加費・定員：先着順など定員オーバーの処理法も書くように
- 申し込み締切：参加人数の事前把握やいつまでに申し込みをすればいいのかという参加者の疑問を解消しよう
- 申込・問合せ先：連絡がきちんと取れる連絡先に。電話については何時から何時までお願いしますと掲載するなど。また、申し込み方法については、電話、FAX、郵便、e-mailなど多様な方法で受け付けるようにしてみよう。
- サポート体制：手話通訳、要約筆記、託児など
- 主催・後援：後援をお願いすることで、広報にも協力いただけることも

#### チェック2：印刷方法は？

- 手釣り印刷：色紙を使うなど工夫してみる
- 印刷会社に依頼：部数と予算、スケジュールのチェックも忘れずに

#### チェック3：配布の仕方は？

- 遅くとも1ヶ月前には、しかるべきところに配布しましょう。大きなイベントほど、早めの広報が必要です。配布先にも漏れがないように。
- 多くの人が出入りする会館・公民館や地域の掲示板などに
- 団体の活動内容が分かるような機関誌と同封するなど
- もっとも有効なのは、手渡し。「ぜひ、来てね」と一言添えて
- 自分のカバンにも常に必携。初めて会った人にも「実は今度……」と

#### チェック4：メール、FAX、ホームページでの広報はどうする？

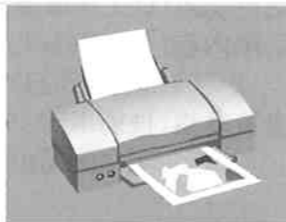
- メール（メールマガジン、メールマガジン）、ホームページも有力な手段。市民活動センターなどでボランティア・NPOのイベント情報をHPに掲載してくれるところもあるので調べてみよう。：おやかまボランティア・NPOの森では、情報を掲載いただけます。一度、下記アドレスを確認してみよう。(http://www.fukushiokayama.or.jp/vola/)

#### チェック5：マスコミへの取材依頼はどうする？

- マスコミへの取材依頼をしておく、事後の広報として効果的。チラシともに、その内容を要約したプレスリリースをつかって、新聞社等にファックスや電話で依頼してみよう。
- マスコミの連絡先のリストは日頃から作っておくと便利
- 日頃から記者さん個人との関係をつくっておくとよい。「〇〇御中」よりも「〇〇様」のほうが効果的
- 紙面の都合もあるので、お知らせはできるだけ早めに
- 当日の取材対応も忘れずに

## 使用済みトナーカートリッジ回収のご協力について

ご自宅などで使用しているインクジェットプリンターのインクカートリッジ、捨てていませんか？企業において、使用済みカートリッジをリサイクルする取り組みがされており、とりまとめをすることによって、ボランティア活動資金が提供いただけることとなりました。つきましては、使用済みインクカートリッジをゴミ箱へ捨てる前に、ぜひ、各ボラ連協もしくは社会福祉協議会へご提供ください！



## 編集後記

今回はボランティア交流会を通して、幅広く、県内の方々と話す機会が持て、有意義なひと時の様子を伝える広報誌が出来たと思っています。

記事を書きたい方、連協にお知らせくださいね！

(編集委員T)

**編集・発行 岡山県ボランティアグループ連絡協議会**  
**事務局 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会**  
**ボランティア・NPO活動支援センター**  
**TEL 086(226)3551 FAX 086(225)6602**  
**2008年2月発行**

URL <http://www.fukushiokayama.or.jp/voc/kenvola/kenvola.htm>

私たちの未来は、私たちの手で！



2008/2  
第8号

# 岡山県 ボランティアグループ連絡協議会



この広報誌は、岡山県共同募金会の助成金により発行しております。

秋風が吹く、日本晴れの下で、県下のボランティア450名の参加者、和気町のハワイアンダンスの方々による歓迎。その後、20グループに分かれて、笑顔の交流が深まり、絆の糸が結ばれていました。高原のリングゴ園にちなんでのリングゴの図を囲んだ布キャンパスは各グループで作成。体験者ならではの言葉がずらり。輪“感謝”笑顔“宝物”和気愛々”等々、輝いて書き綴られた字が並んでいました。

リングゴ園で木から取った新鮮な味！地元ボランティアさん手作りの豚汁の美味しかった事！野外での交流会終末のイベント、オカリナとギターの演奏、美しい音色と全員の声が流れた、見事なハーモニーの優しい癒しを感じました。共感出来る仲間が横にいる！支えられる喜びを実感した満喫の素敵な一日でした。

(笠岡市ボラ連協)

ボランティア交流会in和気が10月18日に和気町の観光リングゴ園で開催されました。当日は、県内11のボラ連協、総勢450名が参加し、盛大に行われました。「より一層のボランティア交流を深めよう！」をテーマにグループに分かれ、思いが詰まった布キャンパスの作成や意見交換を行うなどボランティア同士の交流ができ、今後の活動への力となりました。

## ボランティア交流会in和気を開催！



参加者の声  
アンケートより

←(20の布キャンパスが完成)

2007ボランティア交流会in和気

ボランティア  
大集合

- ☆ 色々な地域の方々と出逢え、色々な活動があることがわかり、参考になった。
- ☆ たくさんの方の話が聞けてよかった。今後の活動に役立てたいと思った。
- ☆ 他市町村の方々と仲良くなれた。なかなか他の市町村の方々と出会えないので、大変よかった。
- ☆ 志を同じくする人々が集い、楽しい会となった。 ☆ もう少し、交流を図る時間が欲しかった。
- ☆ 多分野のボランティアの方と交流が出来た。
- ☆ “仲間“がたくさんいて、勇気がわいた。
- ☆ いろんなアイデアが盛り込まれた良い交流会だった。
- ☆ ボランティアをはじめたばかりで、こういう場に参加できてよかった。
- ☆ ボランティアという同じ目標を持った人たちが一堂に集まって話し合うことはとても良いことだと思いました。
- ☆ ふれあいが大切なこと、豊かさを生む源だと感じた。



(グループ交流風景)

この交流会の開催にあたり、地元の方(和気町)をはじめ、多くの方々にご協力いただきました。この場をおかりして、深謝申し上げます。誠にありがとうございました。

## ボランティアさんに聞きました！ 私の思い！

久米運転チョボラの会  
山田 誠 さん（津山市）

年始早々の株価下落は経済の先行きを不安視させるものとなりましたが、本年も幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、市町村合併以来早くも3年を経過しましたが、合併を契機に私どもは元議員を中心に少しでも障害者の方のお役に立ちたい、また福祉行政の手助けの一助になればと立ち上げた組織です。

これまで、「送迎運転のとき不安感を与えない」「乗り降りの際、細やかに、親切に接する」「送迎を通じて対話を充実」など研修・活動を通じて大切なことをあらためて感じているところです。

子年も一人一人一つ一つのことを大事にしながら頑張りまチュー！



今回は、地域で活動をされているボランティアの方々に、ボランティアへの思いや社会に向けてのメッセージなど、自由に、今、自分が感じている！考えている！ことを教えていただきました。

### ボランティアのできる「ありがたさ」

私は40年足らずの職を辞し、これからは自分の趣味を生かして好きなことができると考えていた矢先、1年間のゆとりだけで、その後はいろんな所から話があり、色々な組織の中に入って、多くの人との交流がもて、色々学ぶことができました。勿論、ボランティア御津の中でも多くの仲間との出会いがありました。また、その繋がりも岡山市への合併により、岡山市ボランティアグループ連絡協議会への仲間入りから岡山県ボランティアグループ連絡協議会とも関わりをもち、交流・情報交換・研修・学習の場づくりができ、ボランティアの輪が広がり、より多くの人と人との繋がりができるようになったことを大変嬉しく思っています。

ボランティアには多種多様なものがあり、今まで私が関わってきたボランティアは小さなほんの一部だったようです。これからは、もっと広い視野に立ってボランティア活動に参加していけたらなあと思います。

これからは、ますます少子高齢化の時代になりますが、年寄りだからということで消極的になるのではなく、体が動く限り働いて、自立生活をしていかななくてはと思うことです。

最近では悲しいニュースがしばしばありますが、こんなニュースを聞いたときに、こんな悲しい出来事がなくなるものかなと……そのためにも、子どもの時からボランティア精神を養い、お互いに思いやり、人と人との繋がりを大切にしていける関係になってほしいなと思うことです。

ボランティア御津  
林 喜美子 さん（岡山市）

## 私の思い！ ボランティアさんに聞きました！



## シリーズ ボランティアリレー4



このシリーズでは、岡山県ボランティアグループ連絡協議会に加入している団体の活動を紹介していきます。第4回目は、倉敷ボランティア協会に加入している「倉敷市ITサポートボランティア協会」を紹介します！

### 「倉敷市ITサポートボランティア協会」

#### ☆ きっかけ

ある新聞に視覚障害者だけの家庭なので、町内の回覧板をどうせ必要無いと、順番を飛ばされる記事を見て、実際には、視覚障害者は、点字だけでなく、パソコンの活用で普通の文字もスキャナーを通して音声で聞く事ができます。インターネットブラウザも音で読み上げます。メールのやり取りも出来ます。晴眼者以上にパソコン活用は重要です。視覚障害の人にパソコンの活用をもっと広めて差し上げたらの思いから。



<http://volu.jp/itvolu/index.htm>

#### ☆ 活動

毎月第4日曜日に、くらしき健康福祉プラザで視覚障害の人が10名くらいとボランティアの人が10名くらいの参加です。パソコンの勉強会を初めた頃は数名の参加でしたが、もう5年になります。お互いの挨拶に始まって、パソコンについての疑問点や、こんなことも出来るようになったという報告や、どうしたら解決出来るかとか、新しいソフトの紹介やらあつという間の2時間です。途中でコーヒータイムも有ります。ぜひ、皆さんもご参加ください。



#### ☆ 点字があるから…

一般的に目の不自由な人はすべて点字から情報を得ているというイメージが強すぎて、点字の読めない人にも、点字の資料が届くことがあるそうです。点字は指先で読みますが、30歳代以降の中途失明者にとっては、ほとんど触読は不可能です。このパソコン勉強会も点字が読める人は3名です。この勉強会には、中途の失明者が多くて、その人たちは点字が読めません。また、大きな文字だと読める弱視の人も数名おられます。そういった人たちは音声も聞きながら、パソコン画面に大きな文字を出して読んでいます。

活動拠点：くらしき健康福祉プラザ

活動内容：月1回のパソコン勉強会運営、年に1回の障害者向けIT機器体験会、「広報くらしき」音声版・政府広報「明日への声」インターネット掲載、いきいきふれあいフェスティバルホームページ作成 など  
会員募集：技術ボランティアの人数がまだまだ足りていません。ウインドウズの基本が理解できて、視覚障害者に画面の様子を伝えるパソコン操作を指導する人を募集しています。



好きな言葉は？ 代表の宮原さんに聞きました！

「義」です。損得よりも善悪で判断する正義を！